

# 理科や社会やや難化

## 公立高特別選抜 基礎から思考力問う

府内の公立高校で19日に  
行われた2019年度入試  
の特別選抜は、基礎的な問  
題から思考力を問う問題ま  
で、幅広く出題された。問  
題はA、Bの2種類あり、  
A問題は基礎的な内容の学  
び直しに力を入れる「エン  
パワメントスクール」が、  
B問題は体育や音楽などの  
専門学科が主に採用した。  
20日は面接などがあり、合  
格発表は27日。

**国語** 出題形式が少し  
変わったが、小問  
数は減少し、難易度は昨年  
並み。漢文の返り点を書く  
問題は新出だった。授業で  
発表する原稿を考える問題  
は、表現力を問われた。現  
代文、古文ともに内容を丁  
寧に読みとる力や、同じ意  
味の表現を探す力が求めら  
れた。

**数学** 出題傾向、難易  
度ともにほぼ昨年  
並み。大問2は、問題文の  
理解力が試される。大問3  
は、規則性を考える問題。  
大問4は、相似の関係など  
を利用して図形の面積や線  
分の長さを求めさせ、最後  
の問題はやや難易度が高  
い。記述問題は標準的だっ  
た。

**英語** 対話文とスピー  
チ原稿に基づく内  
容で、形式は例年通り。読  
解では、星空や車輪といっ  
た様々な題材を出題。英文  
の量は微増だが、語彙力や  
総合的な文法力が求めら  
れ、内容を理解するのに時  
間がかかったのではない  
か。英作文は、条件に合わ  
せて考えをどう伝えるかを  
問うた。

**理科** 昨年観測され  
た、日食や月食、  
光の反射と屈折など身近な  
テーマを題材とした出題が  
多かった。出題する単元が  
絞られ、より詳しい知識を  
問うたり、与えられた情報  
の適切な活用が必要だった  
りする問題もあった。全体  
的には、やや難化した。

**社会** 基本的な語句や  
地名、国名を聞く  
問題が中心だった。出題の  
多かった歴史分野では、出  
来事を年代順に並び替える  
ものが増え、やや難化した。  
グラフや資料を読み取った  
り、文章を記述したりする  
問題もあり、思考力、判断  
力が必要だった。

**A問題** 基礎的な内  
容を中心に出  
題された。国語は漢字の「書  
き」より「読み」を重視し、  
情報を整理する力も問う  
た。数学の難易度は昨年並  
み。規則性を考える問題は  
長文を読み解く力が必要だ  
った。英語は記号を選択す  
る問題が多く、基本的な語  
彙力、文法力が問われた。